

聲明書

町民諸氏並従業員父兄諸氏に訴ふ

今回の東京麻糸工場で事業不振の名の下に温順且我等の信頼せる従業員約二百名を突然解雇しました。それは何も知らない女工諸君に對しては甘言や威嚇の言葉を以ていやがるのを無理矢理と判を押し、あの暴風雨の日に墓門から恰も狂犬を追出すが如くにして歸國せしめたのです。會社では三ヶ月分の手當を出したと仰々しく宣傳して居りますが、事實は五年も眞面目に勤続して日給一圓拾錢、其一ヶ月位の手當を支給したに過ぎなかつたのであります。

親愛なる町民諸氏並従業員父兄諸氏、
今日迄の麻糸工場は従業員の時過状態或は、生活状態が如何に苛酷であり、悲惨であつたかは皆さんの充分に御承知の通りであつたのであります。五年以上も勤続したる日給が漸く一圓であり、茲で一ヶ月位の手當でどうして遠く青森、沖繩に歸れよう。此の点から申しましたも麻糸工場の今回の解雇が如何に不當であり、人道を無視したる事であるかも御諒解願へると思ひます。
會社は盛に民政黨の緊縮政策の祟で解雇するのだから、民政黨の緊縮政策を根絶し、慥に御承知の通り、何んと云ふ卑怯な言ひ逃れでしよう。會社の重役、株主が澤山の儲けた其の後で、従業員を恰もノラ犬の如く取扱つてゐる此の會社に誰れか憤激の涙を流さずには居られよう。

賢明なる町民並従業員父兄諸君、
會社は事業不振、世の中は不景氣だから仕方がないと云つて従業員を半分に減する方針で先づ第一に百三十四名の解雇を發表したと云ふのです。若しも我々が此の僱會社の解雇を承認したならば、後に働く従業員はどうなる、どんな待遇は惡くなつて殆んど人間としての生活が出来ない様な有様にさせられる事は火を見るよりも明らかな事實なのです。我々は今茲でかゝる會社の暴制と戦ひ以て反省させずんば、正義は遂に泥土と化せん。我々が一身を犠牲にして奮然と躍起したるのも資本家の横暴を懲し社會正義確立の爲めに外ならないのであります。

賢明なる町民並従業員父兄諸君、
血も涙もなき鬼の如き會社のやり方、奴隷の如くコキ使つてゐた麻糸工場、それが如何に非道であり、且暴虐の限りをつくして來たか充分なる御觀察を願ひのです。
夜十一時作業を終つて寄宿舎に歸つた女工に手を温める火種一カケラさへ與へず、併かも電燈を消燈する爲めに便所に手サグりで行く始末なのであります。増してや可憐な十五六の子供に便所掃除やらせると云つては言語同断と云はなければなりません。
日曜に洗濯すると思へば水が上らず朝三四時頃起きてやると云ふ状態なのです。又作業に必要な、器具、物品(精紡の防水前揃)(粗紡のハサミ)なんか迄自分で買はされてゐる始末です。
遠く親元から離れて寄宿舎にゐる可憐な女子供が多數なるのにも不拘、病氣したからと云つては、會社に醫者もなければ、勿論診療所とせもなく、殆んど捨て、顧みないのが今日迄の會社のやり方であつたのです。
少く共、千人も使用する工場で醫師一人もゐないと云ふ所は恐らく日本で麻糸工場一ではなからうか。

毎々の食事にしても台湾米に、半分の麥です。日本米を食はせると云ふ此の悲痛の叫が何んで無理であらう以上の事實を申上げた丈でも、従業員を酷使する恰も奴隷の如くであつたと、御想像願へると思ひます。
我々は今日迄忍べる丈は忍んで來ました。併し之れ以上忍ぶ事は最早死より外にないのです。
親愛なる町民諸君並に父兄諸君
我々の此の悲壯なる、奪はれし人間性奪還の此の聖戦に、何卒熱き御同情と御援助とをお與へ下さいまして、我等の頭上に光と幸福とを得させて戴き度いと思ひます

目的の貫徹迄戦ふ事を誓ひし血盟の同志の正義が勝つか? 會社の非道、頑迷、暴虐を許すか、之れ偏へに賢明なる皆様の御理解と御同情に御絶する他はないと信じ、敢て嚴正なる御批判を乞はんとするものであります

歎願書

- 一、全日ノ解雇者ヲ復職セシムルコト
- 一、臨時休業ノ場合日給ヲ支拂フコト
- 一、食費衣裳ノ改善
- 一、食器ヲ奇麗ニシ食物ヲ注意シ日本米トスルコト
- 一、寄宿舎ノ改善
 - 1、火鉢ニ火ヲ置ケト
 - 2、電燈ヲ必要箇所ハ消ケザルコト
 - 3、女工ニ便所掃除ヲセザルコト
- 一、賣店ノ物價ヲ普通値段ニスルコト

希望要項

- 一、工場衛生設備ヲ完全ニスルコト
- 一、作業ニ必要ナル器具物品ヲ支給スルコト
- 一、粗紡ニハサミ、二、精紡ニ防水前揃、一製綿ニ
- 一、今後解雇者ヲ出ザルコト
- 一、退職手当制度ヲ制定スルコト
- 一、工場内ニ診療所ヲ設置スルコト
- 一、労働組合ヲ公認スルコト
- 一、此ノ問題ヲ構性者ヲ出ザルコト
- 一、争議中ノ日給ヲ支給スルコト
- 一、水タンクヲ設置スルコト
- 一、(女工ノ洗濯水ハ飲用ノ爲メ)
- 一、人事行政ヲ公平ニスルコト
- 一、脱税所ヲ設置スルコト
- 一、債務債權ヲ公平且敏捷ニ正確ニ行フコト
- 一、男工寄宿舎ノ布置代ヲ廢スルコト
- 一、及夫病者ヲ養育スルコト

日本労働總同盟紡織労働組合

沼津 第二支部
東京 麻糸 争議團
代表者 山田重太郎

日本労働總同盟本部

會長 前代議士 鈴木 文治
全紡織労働組 合 松岡 駒吉
組合長(國際労働代表) 富田 繁藏
主事

吾が紡織労働組合本部は今回の麻糸會社の暴舉に對し社會正義の爲めに戦ふ麻糸従業員諸君を全力を擧げ物質的に精神的に極力援助する事を誓ふものである。